とどろきっ子

令和５年度　学校だより
６月臨時特別号
千葉市立轟町小学校
令和５年６月２１日

マスクの着用について

先日6月17日に行われました「学習参観」及び「引渡訓練」へご参加いただき誠にありがとうございました。暑い中での実施となりましたが、多くの保護者の皆様に子供たちの頑張りを直接ご覧いただけたことを嬉しく感じております。一部のクラスでは、教室内に入り切れず、十分な参観の機会とならなかった面もございました。子供たちの座席の配置を工夫したり、担任からのお声掛けしたりできなかったことを大変心苦しく思っております。申し訳ございませんでした。後期における参観の機会に生かして参ります。

さて、5月9日、「今後の学校生活について」の文書内4でお示しした通り、6月初旬に子供たちに「マスクに関する調査」を行いました。

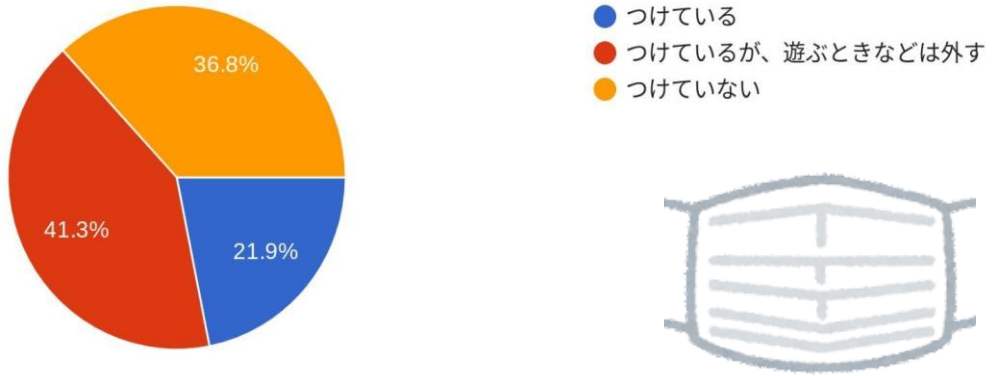
千葉市においては、5月8日の新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に変更となり、マスクの取り扱いが「一律の着用は求めずに、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断に委ねる。」となりました。また、千葉県においては「学校生活全般にわたり、原則としてマスクの着用は不要とする。」、「児童生徒にマスクを外したいという気持ちがありながらも周囲の雰囲気等により、自ら外す選択ができない状況が生じないように、教職員が率先してマスクを外して指導・支援を行ったり、教職員から児童生徒に対し、適宜着用の必要がない場面であることを伝えたりする取組を継続的に行うことも必要である。」とも示されています。

この3年間、子供たちはある意味強制的にマスクを強いられた面もあり、また、基礎疾患があるなど様々な事情で感染不安を抱き、マスクの着用を希望するお子さんもおります。一方で学習参観をご覧になってお感じになった保護者の方もいらっしゃるかと思いますが、学年が上がるにつれて、マスクをしている子が多い実態です。私たち教職員からの視点から言えば、マスクをしている子の表情が見取り切れず、状況に応じたきめ細やかな指導・支援がしにくい面もあります。

本校において検討を重ねた結果、まずはマスクをしている子供たち個々の気持ちや状況を知り、「マスクを外したいのに外せない」状況にしない方策を考えるとともに、熱中症とマスクとの関連を確実に理解させる機会にしよう、また、必要によっては保護者の皆様にも協力を求めようと考え、調査の実施に至りました。（1 年生以外で「ギガタブ」を使用してのアンケート形式）

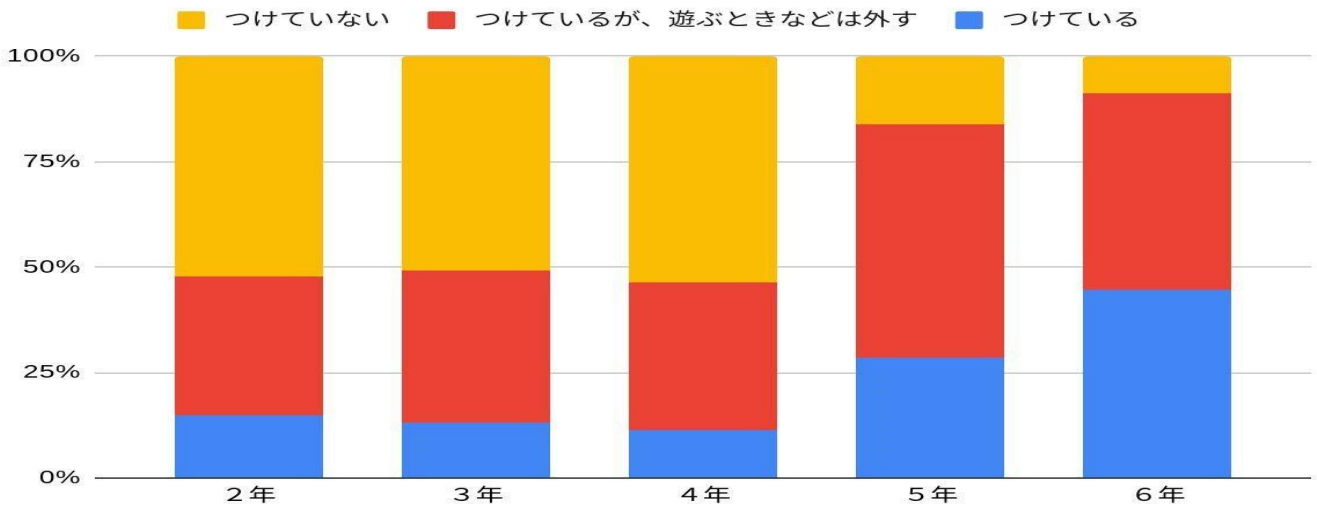
以下、調査結果です。

学校では、マスクをつけていますか？
329 件の回答



【マスクの着用率】

学校では、マスクを着けていますか？（329名回答）		
着けている	着けているが遊ぶときは外す	着けていない
21.9%	41.3%	36.8%



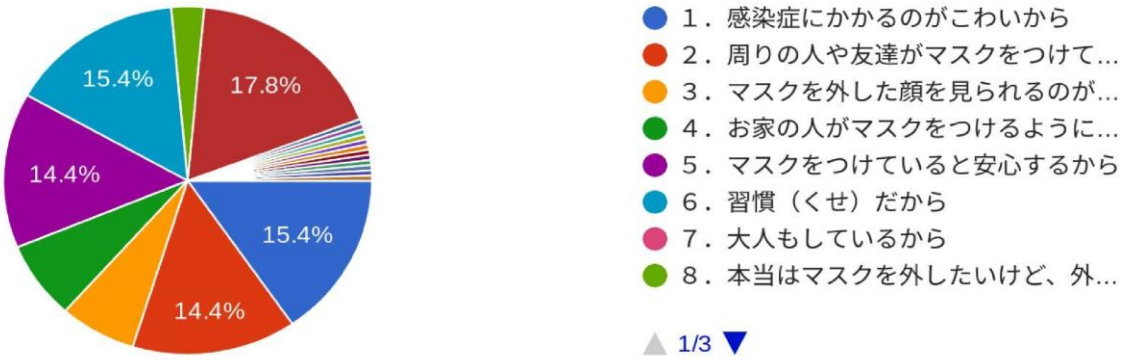
≪学年ごとの様子≫

	2年	3年	4年	5年	6年
着けている	15.0%	13.1%	11.3%	28.4%	44.6%
着けているが遊ぶときは外す	32.8%	36.1%	35.2%	55.4%	46.4%
着けていない	52.2%	50.8%	53.5%	16.2%	9.0%

・4年生までは、着用率がほぼ変わりません。着用なし約50%、常時着用約10%
・5年生になると着用なしが10～20%まで下がります。
・6年生の常時着用が約50%です。
⇒高学年になるにつれ、マスクの着用率が高くなっています。特に6年生の「運動時も着用している」児童が半数になっており、マスクを外せなくなっている様子がうかがえます。

続いてマスクをしている子のみへの調査結果です。

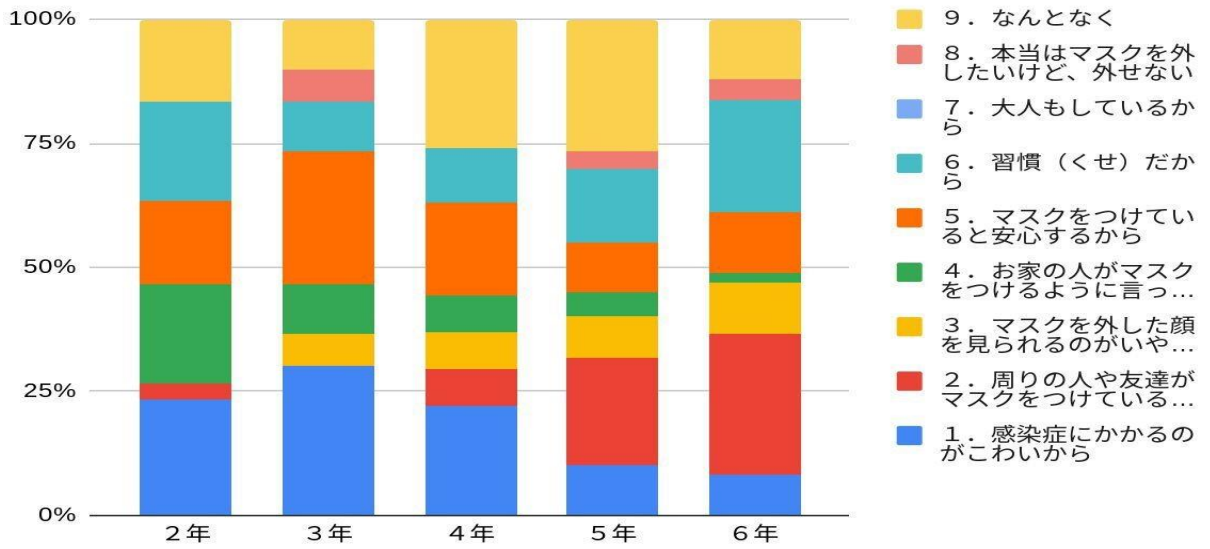
マスクを付けている理由を教えて下さい。 １番強く思うものを選んでください。
208 件の回答



2. 周りの人や友達がマスクをつけているから　3. マスクを外した顔を見られるのがいやだから
4. お家の人がマスクをつけるように言ったから　8. 本当はマスクを外したいけど、外せない。
9. なんとなく【濃い朱色】

【マスクをつけている理由で、1番強く思うもの】

なんとなく	17.8%	お家の人がマスクをつけるように言っているから	7.5%
習慣(くせ)だから	15.4%	マスクを外した顔を見られるのが嫌だから	7.0%
感染症にかかるのが怖いから	15.4%	本当はマスクを外したいけれど、外せない	3.1%
マスクを着けていると安心するから	14.4%	大人もしているから	0.0%
周りの人や友達がマスクを着けているから	14.4%	その他	5.1%



≪学年ごとの様子≫

なんとなく	2年	16.6%	お家の人がマスクをつけるように言っているから	2年	20.0%
	3年	10.0%		3年	10.0%
	4年	28.6%		4年	7.1%
	5年	26.7%		5年	5.0%
	6年	12.2%		6年	2.0%
習慣(くせ)だから	2年	20.0%	マスクを外した顔を見られるのが嫌だから	2年	0.0%
	3年	10.0%		3年	6.7%
	4年	10.7%		4年	7.1%
	5年	15.0%		5年	8.3%
	6年	22.5%		6年	10.2%
感染症にかかるのが怖いから	2年	23.3%	本当はマスクを外したいけれど、外せない	2年	0.0%
	3年	30.0%		3年	6.7%
	4年	21.43%		4年	0.0%
	5年	10.0%		5年	3.3%
	6年	8.2%		6年	4.1%
マスクを着けていると安心するから	2年	16.7%	大人もしているから	2年	0.0%
	3年	26.7%		3年	0.0%
	4年	17.9%		4年	0.0%
	5年	10.0%		5年	0.0%
	6年	12.2%		6年	0.0%
周りの人や友達がマスクを着けているから	2年	3.3%	その他		
	3年	0.0%			
	4年	7.1%			
	5年	21.7%			
	6年	28.6%			

・マスクの着用理由は、様々で、特に偏りはありません。
・くせ（習慣）になっている児童や「なんとなく」が一定数いるようです。
・4年生までは、感染症の不安が主な理由としてあげられますが、高学年は「顔を見られるのが嫌」、「周りがつけているから」と周囲との関係で着用している子が多いようです。
⇒「マスクを付けていると安心する」の理由は「感染症予防の観点から」と「対人関係な観点から」の2つに分かれていることが考えられます。
⇒学年によって理由に偏りがあるので、学年に応じた対応が必要です。

全体を通しての考察です。

①低～中学年における着用率は減少してきており、運動時には外すこともできています。しかし、高学年の常時着用している児童への熱中症に対する対応の仕方をより確実に行う必要があります。（場合によっては、命に関わることとして、強い指導が必要となります。）
②習慣になっている、なんとなくの児童が、進んでマスクを外しても大丈夫な学校・学級の雰囲気作りが必要となります。また、保護者の皆様にもご協力いただきたいと考えます。
③マスクを外せなくなっている児童の中には、「マスク依存」になっている可能性もあります。②と同様、マスクを外しても大丈夫な環境づくりと、保護者の皆様の協力が必要です。
具体的にはこのような励まし、声掛けを・・・

○「クラスの中で、素顔やありのままの表情を見せると、反応や態度を変える人もいるかもしれません。けれどもそれは実際のところ、何人でしょうか。いつまでも続くでしょうか。すべての人が変えるわけではありません。素を見せても関係を続けられる人を大切にできるといいですね。」
○「多くの人の前で素顔を見せるのが難しければ、まずは親しい友達の前で外してみましょう。『大丈夫だった』と安心できる場面を広げていくのも良いです。」
○「外したくない理由は人それぞれでどの理由も、あなたの大切な気持ちです。その気持ちを紙に書きだしたり、家族や友達、スクールカウンセラーなど信頼できる人に話したりすることも大切です。」

～児童精神科医　前田佳宏さんの新聞記事参照～

以上のことから、本校は「マスクの取扱い」について以下の柱で対応します。

A：屋外の活動（体育や外遊びも含めて）については、熱中症のリスクを鑑み、マスクを外す指導を継続的に行います。
B：学級担任は、上記に示したデータを子供たちに伝え、「みんなは実はこう思っていたんだね。」「同じ思いの子がこんなにいたんだね。」といった子供の思いに寄り添った姿勢から、マスクを外したいのに外せない状況にしない環境づくり、学級づくりに努めます。

◎保護者の皆様にお願い
上記を踏まえて、ご家庭でお子さんの思いを聞き取っていただき、学校におけるマスクの着用について再度ご判断いただく機会にしてください。そして、「マスクを外したいのに外せない」お子さんには、その思いを大切にするべく、必要な励ましやご対応をお願いします。

→私たち教職員にとっても、アフターコロナの世界は初めての状況です。かけがえのない子供たちの未来（笑顔や表情の溢れる）を見据え今の状況に対峙するには、保護者の皆様のご理解とご協力が不可欠です。何卒よろしくお願いいたします。
ご質問やご意見等あれば、教頭中村までお願いします。

6月16日発行「とどろきっ子（6 月号）」訂正　※申し訳ございません。

○ 【誤】7月14日（金） B5日課　→ 【正】7月14日（金） B 日課